

「現在の水泳部」

現水泳部顧問 佐藤雄一

青高水泳部40周年おめでとうございます。

私は5年前に青高に着任して以来、現在まで水泳部の顧問をしています。3年間担任をして卒業生(水泳部36期)を一回送り出してから、現在は1学年の学年主任として、青高で2回目の担任(水泳部40期)を持っています。

今年の1年生は7月現在で23人います。たぶん今までで一番人数が多い学年ではないでしょうか。1年生から3年生まで合わせると部員は合計52名にもなり、水泳部は、現在の青高の中でも、きわめて大人数で、活発な部活動の一つとなっています。

私自身も高校生の時、3年間水泳部で泳いでいました。種目はバタフライです。それほど速くはなかったのですが、泳ぐのはとても好きでした。今では体力も落ちてしまつて、長くは泳げなくなつてしまいましたが、泳いでいる生徒達の気持ちは分かるつもりです。例えば、大きな大会でスタート台に立った時の緊張した気持ちとか、自己ベストを更新した時のうれしい気持ちとか、合宿での辛い練習とか、仲間と語り合った夜とか、現役の生徒の活動を見てみると、自分が高校生だった頃のことを思い出します。

現在、水泳部の生徒に対する技術的指導はすべて、卒業生のコーチの皆さんにお任せしています。青高はOB会がしっかりしているので安心です。今後

ともどうぞよろしく願います。でも私は物理の教員ですので、力学的観点からどうすれば上手く、そして速く泳げるようになるかという技術的な面を、私なりに考えています。

さて、これまで青高水泳部の活動を見てきて、生徒達に感動されられる場面が多数ありました。合宿での辛い練習を終えた後の3年生によるエールと充実感に満ちた顔。十六校大会でのあのすさまじい盛り上がり。そして、十六校大会の後行われる、3年生の引退式です。3年間のいろんな思いが込められた、一人ひとりの言葉はどれも皆、胸を打つもので、毎年感動されます。

青山高校は進学指導重点校に指定されて7年目ということで、最近は、部活動と同時に勉強もしっかりやりたいという生徒が増えているようです。水泳部はハードな部活ですが、勉強と部活とのバランスを上手く取って、両方ともに満足できる結果が残せるよう、頑張ってもらいたいと思っています。

